教育社会学
Educational Sociology

UMIGUCHI Hiroyoshi
海口　浩芳

科目ナンバリング：UTL-1-301-04

■授業の目的及び到達目標

この授業の目的は、学校を取り巻く社会状況の変化によって生ずる諸問題と、その対応に向けた教育政策の動向について理解するとともに、地域と連携した学校教育のあり方や学校の管理下における事件・事故等への対応を理解することである。そのうえで、社会の変化に伴う指導上の課題、諸外国の教育事情やわが国の教育改革の動向について理解していること、地域と連携した学校教育の意義、学校安全における危機管理のポイントを理解していることを到達目標とする。

■授業計画

1　教育社会学とは何か
　教育社会学の位置づけ、教育社会学が扱う対象について理解する。
2　日本の学校制度と教育課題
　日本の学校制度の概要とその特徴を理解する。また、日本におけるさまざまな教育課題を知る。
3　世界の学校制度と教育の特徴（1）
　アメリカの学校制度の概要とその特徴を理解する。
4　世界の学校制度と教育の特徴（2）
　ドイツ、フランスの学校制度の概要とその特徴を理解する。
5　世界の学校制度と教育の特徴（3）
　イギリス、フィンランド、シンガポールの学校制度の概要とその特徴を理解する。
6　階層と教育
　文化的再生産論を理解し、メリトクラシーと階層間格差、教育格差について考える。
7　子どもの貧困
　子どもの貧困の実態、就学援助制度について理解する。
8　子ども政策の動向
　幼児教育・保育をめぐる世界の動向、日本の幼児教育・保育制度、こども政策について理解する。
9　いじめ
　いじめの実態、いじめ防止対策推進法の概要、学校・教師に求められる対応について考える。
10　不登校
　不登校の実態、学校・教育行政の対応、教育機会確保法について理解する。
11　インクルーシブ教育
　インクルーシブ教育、特別支援教育について理解する。
12　学校安全と危機管理
　学校における安全管理と危機管理について理解する。
13　授業のまとめと試験
　これまでの授業のポイントを整理し、試験を行う。試験後、フィードバックとしての事後解説を行う。

■授業の方法

授業は講義を基本とするが、主題に応じて演習形式のグループワークを行う場合もある。

■予習・復習

〈予習〉事前に Blackboard から配信されるテキストに目を通して理解できないところを把握しておく。（1〜2 時間程度）
〈復習〉授業の内容を再確認する。授業で出てきた用語や法令を再確認し、理解を深める。（1〜2 時間程度）

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

定期試験（70%）、ワークシートの内容および授業参加態度（30%）による総合評価。

■教科書・参考書

教科書：科目担当者が作成したテキストを Blackboard から配信する。
参考書：酒井朗・多賀太・中村高康編著,『よくわかる教育社会学』ミネルヴァ書房。

■関連する科目

教職課程科目はすべて関連するが、教育原理を修得済みもしくは併せて履修することが望ましい。